御崎神社　岡山県神社庁　神社検索システム

由緒

宗教法人では御崎神社として登録されておりますが、富の方々の歴史観や信仰の思い強く、今日でも富八幡宮と呼ばれている。八幡宮と御崎宮は夫々相異なる歴史的経緯があり、一つの社殿に祀るようになって、八幡神である仲哀天皇、応神天皇の祖神とも云える玉依姫命（神武天皇御母）を主祭神に、相殿として八幡大神を祀ったのではないかと思われる。
摂社として、八幡大神を含め五朝に仕え、功績のあった竹内宿禰を祀る白髭神社（高麗神社）や山神社があり、末社として木野山神社、地神社、秋葉神社が、また西方向の奥谷には荒神社がある。
本殿東の岩石群から４～７世紀頃に、祭りに使用されていた土器片が発見されたことから、祭祀遺跡の磐座と思われている。また周辺海の頃、神亀年間（７２４～７２８）に宇佐八幡宮（７２５鎮座）より勧請し、富八幡宮として祀るが、霊験があってこの里の魚者達獲物多く、村中富栄えて人々富の湊と呼ぶようになり、この里の名を富とした。また東西より馬を出して競馬に乗る神事があったが、今はその馬場の跡がある。当神社の社殿が西面になっているのは、富集落の方向に向いている他、近世の頃、富、亀山、道口、下竹、上竹五か村の総氏神であったため、東西に参道が設けられていたのではないかと思われる。
古代から富の存在は、数々の和歌によっても明かで有り、神社地の広さに比べ、社殿は必ずしも大きくないが、信仰心の厚き氏子の方々により、古き歴史を有する鎮守の森を守り、大当番祭や御日待祭のように古き伝統や文化を大切に守っている。

前の写真へ次

基本情報

神社コード	05013
神社名	御崎神社（オンザキジンジャ）
通称名	富八幡
旧社格	村社
鎮座地	〒713-8116 倉敷市玉島富426
電話番号	
FAX番号	
駐車場	有　50台
御祭神	玉依姫神,仲哀天皇,応神天皇,神功皇后
御神徳	福徳・安産・教育，交通・海上安全，商売繁盛，家内安全，海上安全
主な祭典	５月４日：荒神社春祭 １０月９日：木野山神社秋祭 １０月第４土曜日、日曜日：秋季例大祭
宮司宅電話	086-522-2695
URL	

e-mail

特記事項　神社での祭典以外に、当番の家で行う大当番祭があり、神事のあとに小部落の方々と直会を行う風習がある。また、新年から行われる「お日待祭」があり、日の出を待って太陽を拝する昔からの行事がある。

氏子地域　倉敷市（玉島道口（一部）、玉島富）

交通アクセス

富のバス停から西へ約５００ｍ

検索画面に戻る

© 2016 Okayamaken Jinjacho